



農研機構 アグリカルチャー サイエンスカフェ



NARO SCIENCE CAFE NARO SCIENCE CAFE NARO SCIENCE CAFE

第19回 2020年9月26日(土)

10:00~11:30
食と農の科学館

茨城県つくば市観音台3-1-1



会場マップ

主催：農研機構

共催：つくば市

申し込みは
こちらから!!

事前申し込み制 定員20名
9月1日から申し込み開始



植えておくと肥料になる作物「緑肥」

会場ではマスク着用
をお願いします



講師 唐澤 敏彦

(農研機構 中央農業研究センター 土壌肥料研究領域)

田畑に植えられるレンゲ、菜の花、ヒマワリなどは、次に栽培する作物の肥料になります。こうした作物は緑肥と呼ばれ、肥料だけでなく、有機物を土に補給するため、土づくりにも役立ちます。緑肥の種類によって肥料効果や土づくり効果の大きさが異なるほか、良い微生物を増やしたり、害虫や雑草を減らしたりする効果を持つ種類も知られています。様々な緑肥の多様な効果を紹介します。

平成5年に農水省北海道農業試験場で働き始めてから、主に、作物の養分吸収を増やす方策について研究しています。これまでに、作物の養分吸収を助ける土の中の微生物を増やして収穫を増やす方法や、有機農業で作物が養分不足にならないように栽培する方法を示してきました。現在は、肥料として栽培する緑肥作物の様々な効果についても調べています。



肥料効果が高い
ヘアリーベッチ



土づくり効果が高い
ソルガムの細断



作物の養分吸収を助ける
微生物を増やすヒマワリ



サイエンスカフェとは？

研究者と市民の皆さんが、身近な場所で、科学の楽しさについて気軽に語り合う場を作る試みです。農研機構の研究者が、農業研究の最先端から身近な話題までわかりやすくお話しします。気軽にご参加いただき、日頃の疑問を専門家に聞いてみて下さい。